



Facebook 配信中!
今すぐアクセス!!



牧之原市議会だより

第73号

令和6年2月15日発行
(2024年)

11月定例会号

かけはし



- 今後2年間の議会構成が決定! 2
- 議員9人が市長に問う!(一般質問) 8
- 所管事務調査事項が決定!(常任委員会) 17

菅山保育園 大好きな裏山でパチリ☆

委員会構成

委員会ってなあ〜に？
市には多くの仕事があり、1つ1つを全議員で話し合って決めることは時間がかかります。そこで、仕事の種類によってグループ分けし、詳細に調べたり話し合ったりします。



議会運営委員会

本会議の運営や、請願、陳情などの取り扱い、その他市議会運営に関すること

(委員長) 加藤 彰 (副委員長) 濱崎 一輝
原口 康之 松下 定弘
名波 和昌 谷口 恵世

総務建設委員会

財政、道路・河川、水道、防災、公園、観光、商工業、農林水産業、市の計画など

(委員長) 濱崎 一輝 (副委員長) 松下 定弘
村田 博英 中野 康子 加藤 彰
絹村 智昭 石山 和生

文教厚生委員会

学校、図書館、スポーツ、環境、健康、福祉、子育て、病院、税務など

(委員長) 谷口 恵世 (副委員長) 名波 和昌
原口 康之 大石 和央 太田 佳晴
植田 博巳 種茂 和男 木村 正利

議会広報特別委員会

議会だよりの編集や市議会ホームページなど、議会の広報活動に関すること

(委員長) 種茂 和男
(副委員長) 絹村 智昭
松下 定弘 木村 正利
谷口 恵世 石山 和生

議会改革特別委員会

議会改革の推進や議会基本条例など各種見直しに関すること

(委員長) 原口 康之
(副委員長) 加藤 彰
全議員で構成

監査委員（議会選出）

市の財政や経営状況についてのチェック・指導など
有識者による代表監査委員との2名体制で活動している

植田 博巳

～議会の構成が変わりました～



議長
村田 博英

令和3年に行われた市議会議員選挙から2年が経過し、1期4年のうちの半分が経過しました。
この間、新型コロナウイルスが5類へ移行するなど、社会情勢も大きく変化してきましたが、人口減少、少子高齢化は着実に進行しています。牧之原市における出生数も、この10年間で年々減少しており、この波を止めることは一朝一夕にはいきません。
相良牧之原IC北側開発、義務教育学校の開校など、今後も大きな事業が控えている中、魅力ある牧之原市を持続させていくためにも、議会としても何ができるか考え、行動していかねばなりません。
これまで諸先輩方が積み上げてきた礎に感謝しながら、引き続き市民目線で二元代表制の一翼を担ってまいります。



副議長
原口 康之

令和5年11月の改選により、牧之原市議会も新たな構成で再スタートいたしました。
多様化する社会においては、「社会情勢の変化による経済状況」「少子高齢化社会」などのさまざまな課題があります。そして、これらは全国的な課題であると同時に牧之原市の課題でもあります。こういった課題に対し、市民の皆さまの多様な意見をお伺いする仕組みを構築することを目的の一つとして、今後の議会改革特別委員会では「市議会におけるDXの推進」について調査研究を進めていく予定であります。
また、「行政に対するチェック機能」という議会としての重要な役割を、議会が丸となく果たせるよう力を尽くしていく所存です。



文教厚生委員長
谷口 恵世

文教厚生委員会は、市民生活、健康福祉、教育等を所管しています。
生活に密接に関係する内容が多いため、市民ニーズに耳を傾け、必要なことは時代や状況に即して臨機応変に取り組むことが求められます。
誰もが住みやすく、安心して暮らし続けられる未来ある牧之原市のために、より実現、実効性のある政策提言ができるよう努めてまいります。



総務建設委員長
濱崎 一輝

総務建設委員会は、市の財政・企画政策・総務・産業経済・建設など、広範に渡る部署が所管となり、市政のチェックを行います。
また、「移住・定住人口増加に向けた職住近接施策について」と「地域資源を活かした農業振興について」を調査研究し、議員間で活発な討議・協議を行い、実効性のある政策提言を目指してまいります。



議会運営委員長
加藤 彰

議会運営委員会の所管というのは、①議会の運営に関する事項、②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、③議長の諮問に関する事項です。また、議会改革の推進役としての役割を持ちます。
これら機能と役割を最大限に生かしながら、議会運営の円滑化、住民の代表機関としての議会につなげていく所存です。

給与等に関する 条例改正を審議！

議案への主な質疑

牧之原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

令和5年の人事院の給与勧告に準じ、職員の給与月額を平均で1.1%引き上げるとともに、期末手当・勤勉手当の支給月数を0.10月引き上げる改正を行うもの。

他自治体を参考にしたのか

問 人事委員会がある県や、他の自治体の勧告も参考にされているのか。また最低賃金を下回っていることはないか

答 状況は把握しているが、基本的に人事院勧告に基づき給与の改定を行っている。正規職員の給料および会計年度任用職員において、最低賃金を下回ることはない。

牧之原市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

令和5年の人事院の給与勧告に準じ、特別職の期末手当の支給月数を0.10月引き上げる改正を行うもの。

客観性や妥当性は

問 期末手当の引き上げ0.10月分について、客観性や妥当性を明確にすべき。また特別職報酬等審議会条例を改正して、期末手当も審議対象とすべきではないか

答 人事院勧告を受け、国と同様に一般職の改定に連動した改定を行っている。他市町においても同様であり、妥当性があるものと認識している。特別職報酬等審議会から諮問の必要はないと答申を得ている。

討論

牧之原市議会の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

(大石議員)

反対 人事院勧告は国家公務員に対して勧告したものであり、地方議員まで及ぶかは議論のあるところだが、慣例として準じてきたことに妥当性はない。市内の経済状況を踏まえると、市民が理解、納得されないのではないかと。きちんとした議論が必要である。お手盛りのなどという市民の懸念も感じられるところである。

(原口議員)

賛成 牧之原市議会の議員期末手当については、議員報酬とは異なり、従来から人事院の給与勧告を踏まえ、引き上げ、あるいは引き下げを行ってきた経緯がある。そのため、今回の議員期末手当について、0.10月分の引き上げを行うことは妥当と判断し、本条例改正に賛成するものである。

2つの図書館の位置付けは

問 同じ位置付けではなく、それぞれの図書館に特徴を持たせることが今回のリニューアルの成功にもつながると考えるが

答 双方の図書館ともにその立地環境や状況にすでに特徴がある。ベースとなる基本的な図書館としてのサービスに加え、特色ある運営をしていきたい。



令和6年4月にリニューアルオープンする文化の森図書館「いろ葉」

その他の議案への質疑

牧之原市立図書館条例の一部を改正する条例

令和6年4月にリニューアルオープンする牧之原市立榛原図書館の名称を「牧之原市文化の森図書館」に変更する改正を行うもの。

市政に対する 総括的な質疑

田沼意次侯に関する取り組みは

問 令和7年に放映される「べらぼう 篤重 栄華乃夢 断絶」に向け、来年度は専門の担当部署を設けるとのことだったが、その取り組み内容は

答 この機会を最大のチャンスと捉え、取り組んでいきたい。出演者を招いたトークショー、大河ドラマ館に類するような展示や誘客を伴うようなもの、商品開発等が考えられる。

脱炭素の推進方針を
盛り込む根拠は

問 国から公共施設マネジメントに脱炭素の推進方針を含めるよう要請があったとのことだが、それは令和4年4月1日に改定された総務省の公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針のことを指しているのか

答 その通りであり、その指針を受けての見直しである。

討論

牧之原市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(大石議員)

反対 人事院勧告を理由とする期末手当引き上げは、根拠のない慣例であり妥当ではない。賃金上昇が物価高に追いついていない中で、市内では中小企業が多く、零細・フリーランスなど、収入が低い状況に置かれている。さらに10月からインボイス制度が始まり、個人事業者は厳しい状況である。期末手当引き上げは考え直すべきだ。

(濱崎議員)

賛成 特別職の期末手当については、公務員の給与改定に関する取り扱いに準拠し、これまでも一般職の期末、勤勉手当改定時に、おおむね連動して改定されている。主な財源は税金であるため、住民の理解を得られるものでなければならぬが、今後さらに効率的な行政運営を通じ、住民の福祉向上に精励してもらうことに期待する。



令和5年11月に開催された牧之原市チャレンジビジネスコンテスト表彰式

まきチャレのその後は

問 「牧之原市チャレンジビジネスコンテスト」で応募された事業は、今後どのように市内で事業展開していくのか

答 昨年度グランプリに選ばれた会社は、日本法人設立の準備をしており、市内での創業に向けて動いている。市内の事業者とのコラボ、また行政に係るものは市役所担当課とファイナリストの会社で打ち合わせ等を実施し、今後事業展開を進めていく予定。

～ 議決結果と概要～

・11月臨時会（全会一致のもの）

件名	結果	概要
監査委員の選任について	同意	監査委員に「植田博巳」氏を選任するもの。

・11月定例会（全会一致のもの）

件名	結果	概要
報告	報告	令和5年8月に発生した公用車での事故に対して損害賠償の額を定め和解したもの。
報告	報告	令和5年9月に発生した公用車での事故に対して損害賠償の額を定め和解したもの。
改正例	可決	令和5年の人事院の給与勧告に準じ、職員の給与月額を平均で1.1%引き上げるとともに、期末手当・勤勉手当の支給月数を0.10月引き上げる改正を行うもの。
予補正	可決	令和5年度牧之原市一般会計補正予算（第5号）
条例改正	可決	地方税法等の改正に伴い、出産被保険者に係る産前産後期間の国民健康保険税の軽減措置が導入されたため、所要の改正を行うもの。
	可決	あおぞら保育園および細江保育園を民間移管し、ならびに地頭方保育園と地頭方幼稚園を統合して新たに幼保連携型認定こども園を設置するため、市立保育園3園を廃止する改正を行うもの。
	可決	地頭方保育園と地頭方幼稚園を統合し、幼保連携型認定こども園「牧之原市立地頭方こども園」を設置するための改正を行うもの。
	可決	空家等対策の推進に係る特別措置法の改正に伴い、本条例において引用している条番号にずれが生じたため、所要の改正を行うもの。
	可決	配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する法律の改正に伴い、本条例において引用している箇所に追加等が必要となったため、所要の改正を行うもの。
	可決	令和6年4月にリニューアルオープンする牧之原市立榎原図書館の名称を「牧之原市文化の森図書館」に変更する改正を行うもの。
	可決	配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する法律の改正に伴い、本条例において引用している箇所に追加等が必要となったため、所要の改正を行うもの。
変規	可決	静岡県市町総合事務組合規約の一部変更について
補正予算	可決	令和5年度牧之原市一般会計補正予算（第6号）
	可決	令和5年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	可決	令和5年度牧之原市土地取得特別会計補正予算（第1号）
その他	可決	指定管理者の指定について（牧之原市つくしの家）
	可決	指定管理者の指定について（牧之原市つくしホーム）
	可決	指定管理者の指定について（牧之原市こづみ作業所）
	可決	指定管理者の指定について（相良いきいきセンター）
	可決	市道路線の廃止について
	可決	市道路線の認定について
変契	可決	牧之原市多目的体育館体育館用備品売買契約の一部変更について
補正予算	可決	令和5年度牧之原市一般会計補正予算（第7号）
	可決	令和5年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第3号）

・11月定例会（賛否が分かれたもの）

結果	○：賛成 ●：反対												概要			
	石山	谷口	絹村	名波	加藤	木村	松下	種茂	濱崎	植田	太田	中野		大石	原口	村田
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	令和5年の人事院の給与勧告に準じ、特別職の期末手当の支給月数を0.10月引き上げる改正を行うもの。
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	令和5年の人事院の給与勧告に準じ、議員の期末手当の支給月数を0.10月引き上げる改正を行うもの。



さまざまなイベントが行われている相良総合センターい〜ら

11月定例会 補正予算の審査

○今回の補正予算の主な内容

- ・子ども医療費に伴う経費
- ・イノシシ捕獲に対する補助金に伴う経費
- ・道路の緊急修繕および樹木伐採に伴う経費
- ・学校備品の買い替えに伴う経費
- ・各福祉事業の消費税未払い分および延滞税

一般会計補正予算（第6号）

父子、母子家庭の人数は

子育て世帯生活支援特別給付金事業費（ひとり親世帯分）
119万7000円増額

父子家庭、母子家庭の割合と人数は

給付対象全体の271世帯に対し、13世帯が父子家庭（5.0%弱）で、残りが母子家庭となる。児童数では、全体数426人に対し、24人（5.6%程度）が父子家庭で、残りが母子家庭である。

増額となった根拠は

舞台照明・音響技術業務委託料

60万5000円増額

相良総合センターい〜らにおいて、イベント等が増えたことによる増額とのことだが、何件程度増えたのか

令和4年度と5年度の同じ期間で比較して、50時間ほど増えている。令和5年度当初予算としては1180時間を見込んでいた。

農業者への還元方法は

肥料価格高騰対策事業費

422万7000円増額

農業者への振り分け方、還元方法は

令和4年度の秋肥については、各農業者から市へ手続きをさせていただいたが、この方法では農業者への負担が大きいため、春肥からは肥料商や農協を経由して手続きをさせていただいている。



増額の要因は

工事請負費（道路改良工事）

550万円増額

増額の内訳は

市道八ツ枝毛ヶ谷線工事現場の土の処分費について、当初は不良土として計上していたが、実際に掘削したところ、超不良土といわれる土が出てきたため、処分費が立米当たり4000円から9000円となり、その差額分を増額した。

一般会計補正予算（第7号）

消費税未支払い分の対応は

活困窮者自立支援事業未払金ほか

1145万8000円増額ほか

福祉事業に係る消費税未払い分および延滞税について、今後の対応として、国へ補填を求める等の検討はあるか

県内、全国的な動きを注視し、そういった動きがあれば、県内の市町と連携して対応していきたいと考えている。

高騰した価格は適正か

工事請負費（多目的体育館整備工事）

2546万9000円増額

資材価格高騰により値上げされた価格が適正かチェックをしているか。また、補正をかける基準となる割合等はあるか

市と管理者の監督者で適正な単価を確認している。また、明確な基準はないが、今回は値上がり幅が大きいので対象とした。

戦後生まれの団塊世代の方たちは、経済成長期に育ち、高度経済成長期に社会に進出しており、経済や社会の変化に対応して、キャリアを築き、長く仕事に取り組み、社会貢献をしてきている。この世代が、健康で、仕事や趣味を通じて充実した生活を過ごせるようになることが、今後の高齢化社会の中では重要であることから、次のように質問する。

高齢化社会への対応策について

問 地域で支え合う体制づくりへの取り組みは

答 高齢者が意欲や能力を生かして社会に関わり続け、周囲の支えにより、地域で暮らし続けられるために健康づくりに取り組み、さまざまな地域・社会活動に参加し、高齢者が住みなれた地域で元気に暮らし続けられるように、生活支援、社会参加の促進、就労支援を実施している。

問 生活支援、社会参加の促進への具体的な取り組みは



答 民生委員の皆さまの協力により、65歳以上の高齢者のひとり暮らし、高齢者夫婦のみの世帯などの状況を把握する高齢者福祉行政基礎調査を毎年実施している。また、困りごとがあった際には、自治会にも協力いただく体制を確保している。

答 生活支援体制整備事業として、市内に生活支援コーディネーターを3人配置しており、地域活動の大切さを伝える講演会の実施や、高齢者の通いの場の支援、自治会の生活支援活動のサポートをしている。

問 市からシルバー人材センターへの依頼基準は

答 明確な依頼基準はないが、地方公共団体が発注する業務について随意契約をすることができると相手先であることから、依頼する事業が実施可能か確認し、見積もりを提出いただき、発注することになる。

問 地域の見守りの状況は

答 高齢者が気軽に集える場所づくりの状況は、高齢者が気軽に集える施設としては、老人福祉センターや介護予防拠点施設である「相良いきいきセンター」、「生きがいガーデン」がある。そのほか市内3カ所で開設されている、誰が来ても、なにをしてもよい「通いの場ちよつくら処」を活用していることから、空き家を活用した高齢者の集いの場づくりを展開する予定はない。



問 スポーツ大会誘致への具体的な取り組みは

当市は「ぐりんぱる」という大きなグラウンドも整備され、今年度末には多目的体育館も完成する。そこで、今後のスポーツ振興を図っていくうえでの、スポーツ大会の誘致、体育施設の環境整備について伺う。

答 これまでも全国規模の大会が行われているが、牧之原市の特色をPRして大会を継続してもらえよう働きかけている。また、多目的体育館においては、プロバスケットボールチームのプレシ―ズンマッチや、バレーボール、フットサル等のさまざまな大会の誘致を指定管理者と協議している。今後も、市内におけるスポーツ活動および地域経済の活性化、青少年の健全育成を図るため、関係機関と連携を図りながら、積極的にスポーツ大会の誘致活動を進めていく。

問 大会に関わる人材の高齢化や担い手不足への対策は

答 中学生や高校生にボランティアをお願いしたり、スポーツをする方を増やしたりすることで大会への関わりも増えていくと思う。観光的な面も含め、多くの方が関われる仕組みが今後必要と考えている。

問 「ぐりんぱる」の駐車場の確保は

答 令和元年度に駐車可能な防災広場を整備し、約280台が駐車可能となったこともあり、現時点では駐車場の拡張は考えていない。

問 各小中学校グラウンドのトイレ洋式化の考え



洋式化されていない学校グラウンドのトイレ

答 全てのトイレブースや配管等の状況を調査し、洋式トイレの設置に向け検討していく。

きぬむら ともあき
絹村 智昭

質問の様子はこちら
-動画配信中!-



スポーツ大会誘致と体育施設整備

問 大きな大会を開催した際の受け入れ体制は

答 ボランティアについては、スポーツ協会や関係するスポーツ団体等、多くの方に協力していただいている。また、市だけでできることではないので、観光業者や飲食業者、商工会等にも協力いただいている。



車両が駐車されている「ぐりんぱる」

問 公共施設敷地内における喫煙者の対応は

答 健康増進法の規定により、令和2年4月1日から全面禁煙としている。しかし、路上等での喫煙や吸い殻の廃棄による環境悪化が懸念されることから、「ぐりんぱる」等の屋外グラウンドにおける分煙施設の設置について調査、研究を進めていく。

一般質問

文部科学省の令和4年度の問題行動・不登校調査で、約4割の子どもたちが学校外の学びの場とつながっていない実態が分かってきた。こうした子どもたちのために、官民で連携したり、オンラインを活用したりする工夫によって、それぞれの個性に合わせた教育の機会を提供していくことは大変重要であり、喫緊の課題である。

不登校児童生徒への対応

問 学びへのアクセスについては、「どこにもつながらないこと」が問題だという認識が

答 学びにつながることを一番重要視している。どうしても不登校になったのかをしっかりとアセスメントし、その子に今、何が大切なのかを大勢の関係者で協議し、どのようなつながり方をしていけばよいか。また、つながるのを阻止してしまっているような要因があるのであれば、それらをどう解決していくのか。こういったところを関係者で共有し、対応していくことが大切であると感じている。



ホッと安心できる居場所

問 学校に登校を前提としていることに対する保護者の意見は

答 大切なのは、この社会から孤立をさせない。その子の歩みに沿って自立をしていくということが大事ではないかということ、学校とも共有している。学びの場については、その子にとってどこが適切であるかというのは、学校一択ではなく、さまざまな選択肢を模索しているのが現状である。

問 不登校になりにくい学校風土、その具体的な取り組みは



私たち大人は、どのくらい子どもたちに向き合えているか

答 児童生徒による自治的な活動の推進。学校の持つ特色を生かした授業づくり。保護者、地域と連携したコミュニケーション・スクールの推進で、誰もが安心して学べる学校風土をつくるということ、それを共通理解して進めている。

問 フリースクールの運営支援は

答 国や県の動向にも注視しつつ、フリースクールの運営や不登校児童生徒を抱える保護者支援等について、どのようなことができるか検討するとともに、令和6年度に榛原児童館に併設して整備する、子どもの居場所における不登校児童生徒への支援についても検討していく。

問 市内小中学校における施設関係の現状と課題は

答 学校施設は築40年を超えるものが多く、築60年を超える施設もある。新しい学校が開校するまでの間、適切な教育活動ができるよう、令和4年度に修繕計画を作成し、維持管理を行っている。令和5年度は約2000万円を確保し、令和11年度までに総額1億1000万円ほどを計画しているが、跡地活用を見越した修繕ではない。エアコンについては、普通教室および特別支援教室は137教室全ての教室に設置している。特別教室は161教室のうち89教室に設置しており、教育課程を組む中で時間や時期等を工夫し使用している。なお、エアコンが整備されている体育館がある学校はない。

問 教育現場における業務について

答 県立学校を対象とした業務改善プランを参考に業務改善を進めている。人的資源の配置・活用、校務の分類・整理と見直し、教職員の働き方の見直しなどの5本の取り組みを重点とし、さらにICT化の推進、業務改善の行動変容・横展開などがある。また、令和4年度の萩間小学校の学校評価アンケートでは、先生方にとってコミュニケーション・スクール事業は教員の多忙化解消に役立っているとの回答が100%であり、地域ボランティアが学校現場に与える影響は大きいものである。

問 教職員の働き方について

答 教職員の時間外労働は令和4年度の1カ月平均が43時間であり、削減対策として、各学校で定時退庁日を設定する等、日頃より仕事の効率化を意識した働き方を推奨している。また午後6時以降は電話対応を留守番対応機能に切り替えることを保護者に理解していただき、教員の時間外労働を削減する環境も整えている。しかし、生徒指導上の対応などは時間の中で収まる話ではなく、突発的に夜間対応となる場合もあるのが実情である。

2030年に新たな学校が開校するまでの間、現在の施設を児童生徒たちが安全で、安心して学び、生活できる環境にしておくため、また、教職員の方々が健康で働きがいを持てる職場としていくための課題について伺う。

ななみ かずあき
名波 和昌

質問の様子はこちら
-動画配信中!-



かとう あきら
加藤 彰

質問の様子はこちら
-動画配信中!-



小中学校が抱える各種課題は



静岡県教育委員会より

一般質問

リニア中央新幹線工事において、事態が進展したようなムード作りがされてきているようだ。再度、大井川水系の水資源問題について質問する。



おいしい かずお
大石 和央

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



オール静岡体制で対応すべきでは

問 田代ダム取水抑制案について、流域住民にとって安心できる対応が整ったと述べているがなぜそのようなか

答 工事中の水返しに対応するもので、東京電力リニューアブルパワー（東電RP）や静岡県中央新幹線対策本部などの協議により、対応が具体化・整理されて安心材料が整ったと考える。

問 突発湧水とか、取水できない場合とか課題や問題があるという認識で良いか

答 不確実性に対する調査、研究というところで、まず高速長尺先進ボーリングをやり、断層や湧水調査をやる必要があるのではないか。また、国の有識者会議の中間報告では、導水路トンネルあるいはポンプアップで、毎秒2トンに関しては返せる。課題は解決しているものと思っている。

問 その調査がされていないのに、先進抗が掘られている状況にある。JR東海は私たちに説明する必要があるが、されていないことが大きな課題だ

答 大井川の水利権はトータルの毎秒46・326トンである。実際に使われているのが19・220トンで約41%である。毎秒2トンというのは、それからするとかなり余裕があるということ。

問 失われる水が僅かだからという根拠が分からない。県ではJR東海に47項目の回答を求めてきたが、そのほとんどに明確な回答がないという。田代ダム案についても県専門部会から5項目の意見が出されている。JR東海に真摯な対応を求めないのか

答 大井川利水関係協議会では、県外流出量と同量を取水抑制できない状態の対応と突発湧水など不測の事態が発生した場合の対応について、事前の説明を求めている。

○その他の質問
障害者支援と第4次障がい者計画について

問 JR東海社長に「連絡調整会議」の設置を要望したと報道されたが、どのようなものか

答 名称を「大井川流域8市町とJR東海との情報交換会」として、事務局は島田市、四半期に1回程度の開催予定である。何かを協議、調整し決定していくものではない。各市の所管課長が、そのメンバーで明確な規則とかルールはなく、勉強的な位置づけである。



各地域で河川美化活動の一環として除草作業が行われているが、年々担い手不足と高齢化により活動を自粛、または解散するところも出てきている。加えて、河川土手法面の除草作業は危険が伴うため、高齢化により怪我や事故にあらリスクが高まっている。

問 各団体の課題を把握しているのか

答 全てを把握はしていないが、会員の高齢化や後継者不足などにより、活動が難しくなっている団体があると認識しており、若い世代への事業継承、世代交代が課題であると考えている。

問 今後何らかの対策を講じていく必要性を感じるか

答 危険が伴う場所の作業については、河川管理者である県や市に相談いただければ、必要に応じて管理者において作業を実施していく。

問 市管理の河川での除草作業中の怪我について、補償する保険はあるのか

答 市民総合賠償補償保険がある。お見舞金程度の金額が出るもので、治療費や休業の補償には対応していない。



急傾斜地での除草は危険が伴う

問 保険の内容としては弱いのではないか。民間の団体が、保険に入る場合の補助を検討してはどうか

答 河川美化や愛護美化の補助金を各自治会に出している。そういったものを原資に、保険を掛けてもらえばどうかと思っている。詳細を調べて、各自治会等に周知したい。

災害等緊急時の通信手段

東日本大震災や停電、最近の大規模通信障害を受け、公衆電話の重要性が改めて注目されている。その一方で、公衆電話の存在や使い方を知らない小学生も増えている。



災害時でも緊急通報番号が利用できる公衆電話

問 災害時に備え、市内の公衆電話の設置場所を市民に知ってもらう必要性を感じるか

答 現在NTTのホームページを見れば場所が分かるようになってきている。市のホームページへのリンクづけなどで周知ができればと思うので、検討していく。

問 各小学校で公衆電話の体験教室を開催したかどうか

答 災害時の連絡手段として考えると、キャリア教育のプログラムの中に「命と防災」というプログラムがある。どの学年でというものはまだ分からないが、この中で講習会や体験会をやることも考えられるので、検討していきたい。

はまざき かずき
濱崎 一輝

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



河川土手法面の除草作業の課題

一般質問

牧之原市は2025年に市政20周年を迎える。多目的体育館の建設、相良牧之原IC北側開発事業、道の駅「(仮) さかべ」、相良榛原両地区への義務教育学校の開校等、市の輝く未来に向けてさまざまな事業投資が進んでいる。反面、牧之原市の将来人口は令和12年には4万2000人と、約3000人の人口減を予測している。市の示す「わかりやすい牧之原市の財政2023」では、令和5年度予算を年収500万円の家計に例えて示しており、人口減により市民税は減少していく中、抜本的な生活習慣の見直しが必要とした表現について、一般会計の収入増につなげる具体的な施策の状況について質問した。

きむら まさとし 木村 正利



質問の様子はこちら
-動画配信中！-

一般会計の収入増施策の状況

問 抜本的な生活習慣の見直し施策は

答 公共施設マネジメント基本計画にて、施設の長寿命化による経費117億円の削減目標を立てている。具体的には、計画にのっとりた整備の一例として、市営住宅の屋上の防水工事、外壁塗装等を行っている。人件費については、定員適正化計画を策定し、令和3年から令和7年までに36人の削減をすることを目標としており、令和5年の時点で16人の削減をした。また、令和3年度から会議のWEB化等を導入し、事務のデジタル化も進めている。

問 光熱費、医療費を切り詰めるとは

答 光熱費については、「ゼロカーボンと経済成長の好循環の実現」の取り組みにより、公共施設の省エネルギー化、経費削減を図っている。医療費については、市民の健康づくりを支援する施策を実施するとともに、市民が自らの健康づくりに関心を持つことで、健康寿命の延伸が図られ、結果的に医療費の削減につながるよう取り組んでいる。

問 市の収入増のための成長戦略は

答 企業誘致のため、牧之原市企業立地促進事業費補助金を実施している。また、「牧之原市チャレンジビジネスコンテスト」を実施し、市内での創業支援を進めている。さらに、環境にやさしい農業への取り組みの中で「波乗りレモン」のブランド化を図り、地域おこし協力隊が主体となりクラウドファンディングを実施するなど、農業者の収益向上を目指している。



牧之原市では、公共施設マネジメントの見直しが行われ、その重要性が改めて浮き彫りになっている。公共施設は市民生活の基盤であり、その効果的な管理と運営は、市の財政的健全性と市民サービスの品質向上に直接影響するため、市の公共施設マネジメントについて伺う。

いしやま かずみ 石山 和生



質問の様子はこちら
-動画配信中！-

多目的体育館の維持管理について

問 多目的体育館の「運営にかかるランニングコストの合計金額」と「費目別の内訳」について、建設前の想定、また現時点においてのZEB化していなかった場合と、ZEB Readyの場合を具体的に伺う

答 現在、予算編成中であることから、示すことができない。

問 建設前の想定金額と編成とは関係ないが、そこに関して示すことができるか

答 近隣の体育館の維持費等を参考にしながら検討はしている。

問 建設前に行政側が想定していたのがいくらかという質問である。近隣を参考にしているのではなく、積み上げでやるものではないか



問 建設前については、仕様が定まっていない中で積み上げの積算はなかなかできない。しかし、近隣を参考にしながら、面積等から算出し、この程度の維持費はかかる、と想定はしている。

問 その近隣からの想定金額を、建設前の想定で改めて伺う

答 8000万円から9000万円ぐらいの維持費を想定している。

問 その維持費は全て一般財源から出るか

答 一般財源からである。

○その他の質問

- まきのほら活性化センターについて
- スポーツ合宿誘致について



用語解説 ※ZEB 「Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のこと。

常任委員会の 調査事項が決定

本会議において常任委員会は、市の提出議案について審査を行っています。その他にも常任委員会では任期（2年）の間、本会議の閉会中においても市の諸課題の中から、懸案事項などについて、調査・研究テーマを設定し、提言に向け委員会を開催します。

総務建設委員会

- 移住・定住人口増加に向けた職住近接施策について
- 地域資源をいかした農業施策について



全国的に進む人口減少は、牧之原市においても大きな課題となっております。我が市は、昼夜間人口比率が県内においてトップになるほど、製造業の会社は多く存在しますが、定住人口が少なく、加えて若者が進学を機に市外へ出ていき戻ってこないというジレンマを抱えています。



この流れを変えるためには、若者が自由に職業選択できるよう、多種多様な企業誘致を進め、子育て世帯の移住・定住を意図し、特色のある大型分譲地や賃貸住宅などの整備が必要だと考えます。

また、市の農業は茶業を中心とし繁栄してきましたが、若者のお茶離れや生産農家の減少などにより茶業は衰退し、あらゆる農業従事者の担い手不足も懸念されております。

以上のことから、上記2つのテーマを選定し、調査・研究を進め政策提言を目指してまいります。

文教厚生委員会

子どもの未来をつくるための環境整備について



少子高齢化および人口減少は、市の最大の課題であり、牧之原市を持続させていくためには早急な対策が必要です。そのような中、国では、全ての子どもが将来に渡って幸福な生活を送ることができるとの社会の実現を目指し、子ども政策を総合的に推進することを目的に、令和5年4月に「子ども基本法」が施行されました。



少子化対策はただ子どもを増やすための施策に留まらず、生活インフラの維持・向上につながります。言い換えれば、「子どもの未来」は「社会の未来」であり、子どもを応援することは自分たち自身の未来を応援することでもあります。

自分たちのまちが「暮らし続けられるまち」であるために、未来を担う子どもたちを今の社会のみんなで応援することが大切であることから、上記テーマの下、調査・研究を進め、実効性のある政策提言につなげてまいります。

一般質問



おおた よしはる
太田 佳晴

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



相良地区の公立公民館制度の廃止

「相良地区各区で実施している公民館事業が、榛原地区各区に委託している生涯学習事業とおおむね同様の内容だから、相良地区の公民館制度を廃止して榛原地区の生涯学習に統一する」との方針が示されたが、歴史と実績がある相良地区の公民館活動の今後を憂い伺う。

問 公立公民館は社会教育法上の重要な施設だが、市が目指そうとしているコミュニティセンターにはそのような規定もない。今後取り組みまちづくりについてどのような考えか

答 先進地の視察を行うなど協議、検討を重ねてきたが、萩間公民館を社会教育法の適用を外し、公民館機能に防災拠点の機能等を併せ持つ、地域づくりの拠点としたコミュニティセンターとする。まちづくりについては、地区や区など自治会がコミュニティ活動を継続できるように支援していく。

問 取り壊しが決まった相良公民館の代替施設について、複数回ワークショップを開き、広く公民館利用者の意見を聞いたが、市民の声に込んでいるか

答 相良公民館の機能が備えられるよう、相良放射線防護施設や多目的体育館、防災広場、いっら等を一体的に活用し、これまで以上に機能を充実させるよう整備を進めてきており、令和6年3月には多目的体育館等の施設が完成し、相良地区防災拠点構想が完了することから、市民の皆さまの声には十分応えたと確信している。



相良原子力防災センター「サーボ」と建設中の多目的体育館「ガスワンアリーナ」

問 令和6年4月から萩間公民館を「萩間コミュニティセンター」に変更し、今後は常駐の管理人は置かない方針とのことだが、地頭方地区のように地区支援員を置くべきと考えるがいかがか

答 萩間公民館の今後のあり方については、地域住民のニーズや要望を把握して、防災の拠点等の新たな機能を加えるなど、これまで以上に多くの地域住民に利用していただきたいと考えている。建物の管理人は置かないが、「地区支援拠点のあり方に関する提言書」に基づき、地区の皆さんとの協議の方向性によって、地区支援員の配置は当然考える。



萩間公民館でグラウンドゴルフを行っている地元の団体

第1部（議会活動報告）

○令和4年度決算審査報告
 ・各会計における決算額
 ・一般会計における決算概要

○常任委員会活動報告
総務建設委員会
 ・所管事務調査の内容
 ・市民会議等の実施状況
 ・令和5年9月に提出した提言書内容

文教厚生委員会
 ・所管事務調査の内容
 ・市民会議等の実施状況
 ・令和5年9月に提出した提言内容

○特別委員会活動報告
議会改革特別委員会
 ・議会報告会の改善について
 ・議会への市民参加のあり方について



さざんかでの報告会の様子

第2部（意見交換会）

両日とも、議会改革特別委員会の活動報告についての意見交換会を行いました。議員の進行で活発な意見交換が行われ、さまざまなご意見を頂きました。今回頂きましたご意見は、今後の議会改革特別委員会における調査・研究にいかしてまいります。

テーマ
 議会報告会の改善について

各会場で出された意見

- 若者、子育て中の方も参加できるZOOM導入も良い
- 議員が調査した、牧之原市にはない先進的な政策を紹介してはどうか
- 視察研修の報告会を開催してほしい
- 区の団体やその他各種団体に参加を依頼してはどうか
- 各地区に向き、もっと身近でやってほしい
- 「議会報告会」という名称が堅苦しいので、変えてはどうか



○SNSで積極的に発信すれば、反応もダイレクトに集まると思う

○議会活動の報告は、あまりホームページに頼らないほうが良い

議会報告会を開催しました！

令和5年度も昨年度に引き続き、2会場で対面での議会報告会を開催いたしました。また、今年度は議会改革特別委員会の活動報告も行われ、市民の皆さまから多くのお声をいただくことができました。お忙しいところ、会場へ足をお運びいただき、誠にありがとうございました。

【第1回】
 10月6日(金)

【第2回】
 10月13日(金)

テーマ
 議会への市民参加のあり方

各会場で出された意見

- 議員が、市民と直接顔を合わせられる小規模な集まりに向向くのはどうか
- 親子で参加できる方法があればいいと思う
- 議会モニター制度を導入する際には、モニターに市民、市内企業、若者、学生、専門家を入れる
- 議会モニターはターゲットの年代を分ける
- 議員が市民から市への提言アイデアを募るイベントを開催しては

用語解説

※議会モニター制度
 議会運営等に関し、市民からの意見、提言などを広く聴取し、議会運営に反映するための制度。モニターは市民の代表として、議会に対し議会運営等に関する意見、提言を行う。その選出の方法は、自治体によりさまざま。

提言についての質問への回答（抜粋）

問 牧之原市では年度ごとにとまとめるのか、年度をまたいでまとめるのか
答 提言の進捗状況については、定期的に市へ回答を求めている。

問 提言した後、市と議会で打ち合わせ等を行っているか
答 議会に執行権はなく、市政のチェックが仕事になる。そのため、進捗などの状況報告があった際には、議会としての務めを果たすべく、しっかり取り組んでいく。

問 総務建設委員会の提言にある、プランニングクリエイターとの公民連携のプロジェクトチームの立ち上げはぜひ進めてもらいたい
答 具体的に進んでいくと思う。相良マリンパークや相良港などは十分に活用されず、もったいないと感じている。専門クリエイターの意見等を聞きながら、活用を進めてもらいたいと考えた。今後議会として、進捗を確認していく。

問 紙面の都合上、頂きましたご意見の中から抜粋して掲載させていただきます。また、報告会でお配りさせていただきました資料につきましては、議会ホームページにて掲載しておりますので、そちらからご確認ください。

こちらからも確認できます！



史料館での報告会の様子

全議員視察報告

1月15日 熊本県 人吉市
 1月16日 鹿児島県 薩摩川内市、東郷学園
 1月17日 九州電力川内原子力発電所

牧之原市と熊本県人吉市は、昭和34年の旧相良町の頃から交流が始まり、友好都市となった現在まで、産業交流をはじめとした活発な交流が行われています。この度、平成29年に訪問して以来、6年ぶりに人吉市を表敬訪問し、議会同士の交流を深めるとともに、令和2年に起こった豪雨災害からの復興、新庁舎の防災機能等について、担当職員から説明を受けました。

鹿児島県薩摩川内市では、現在牧之原市でも課題となっている、学校再編における閉校跡地利活用について、担当職員から説明を受けました。その後、実際に小中一貫校である東郷学園を訪問し、施設の見学も行いました。

九州電力川内原子力発電所では、原子力発電所における安全対策について研修を受け、実際に原子力発電所内にある安全対策箇所の見学も行いました。



人吉市からの手厚い歓迎



東郷学園内を施設見学



原子力発電所の安全対策について

議会を傍聴してみませんか

2月定例会の日程

- 2月 22日 (木) 提案説明
- 3月 4日 (月) 通告質疑
- 7日 (木) } 一般質問
- 8日 (金) } ※11日は一般質問者数が
- 11日 (月) } 13人以上の場合
- 22日 (金) 審議・採決

※当初予算連合審査会

3月12日 (火) 13日 (水) 14日 (木)



もっと市議会を知ろう!

傍聴する

市議会で行われている会議は全て公開です。



録画配信を見る

一般質問はいつでもご覧いただけます。

牧之原市 議会中継 検索 ← クリック

ホームページで本会議や委員会の会議録を見ることができます。



今号の表紙

【菅山保育園

大好きな裏山でパチリ☆】

春にはタケノコ掘りを楽しみ、バッタやカゲなどの生き物と触れ合い、秋にはシイの実が落ち、栗やキンカンが採れます。1年中裏山を走り回り、元気いっぱい笑顔もいっぱいです。

編集後記

令和6年元日に発生しました能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げます。さて、議会広報特別委員会も11月から新たなメンバーでのスタートとなりました。今まで以上に読みやすい紙面となるよう努力してまいりますので、引き続きご愛読いただけますようよろしくお願い申し上げます。(種茂)

- 議会広報特別委員会
- 委員長 種茂
 - 副委員長 和男
 - 委員 智昭
 - 委員 定弘
 - 委員 松下定
 - 委員 木村正
 - 委員 谷口恵
 - 委員 石山和

牧之原市議会定例会（一般質問等）については、ホームページに掲載されています。「牧之原市議会だより」は再生紙を使用しています。